

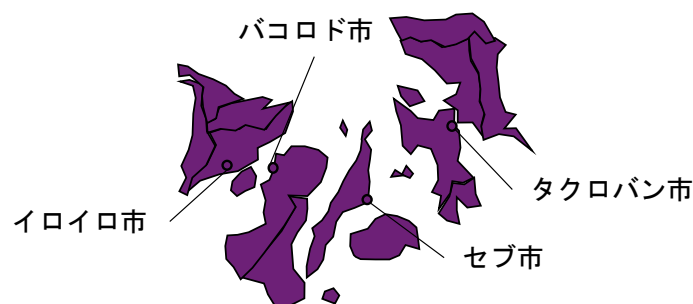
第26章 地域編②：ビサヤ地方（セブ）

1. 地域概要

①ビサヤ地方（セブ）概要

ビサヤ地域は、7つの大きな島と数百もの小さな島々からなる。フィリピンでの行政区分として、西部ビサヤ、中部ビサヤ、東部ビサヤから構成されている地域である。位置としてはマニラがあるルソン島の南東、ダバオがあるミンダナオ島の北部に位置している。その中でも中部ビサヤに位置するセブ島及びマクタン島が商業の中心地となっている。西部ビサヤの人口は約795万人、中部ビサヤの人口は約808万人、東部ビサヤの人口は約454万人であり、これらでフィリピン総人口の約19%を占める。なお、セブ都市圏は、マニラ首都圏に次いでフィリピン第2の経済圏であり、多くの日本人が居住している。

図表 26-1 ビサヤ地方の地図



②工業団地・日系企業進出動向

多くの外国企業は、中央ビサヤにあるマクタン島、セブ島に拠点を設置しており、進出企業の業種は主に製造業及びITサービス企業である。GDP（工業）は、セブ市を有する中部ビサヤ地方が3,514億ペソと最も大きい。

③インフラ・物流

【移動手段】

セブには、主な公共の移動手段として他の地域と同じく、ジープニー、トライシクル、タクシー、バスがある。これらは最も安価な移動手段であり、多くの住民は、ジープニーやトライシクルを利用して移動している。一方で、バスは2015年より運行が開始されているMybusが、定期的に空港とセブ市内間を運行している。

【港湾・空港】

ビサヤの空の玄関は、セブ市の中心部から約 9 km に位置するマクタン・セブ国際空港である。日本とセブの間では、成田空港からの直行便が毎日複数便運航している。また、大阪、名古屋からも直行便が運航されている。

また、ビサヤの主要港は、セブ港である。セブ港は、セブ市に位置し、海運会社の多くが母港として利用するフィリピンの主要な港の一つであり、CPA（セブ港湾庁）が管理している。

【電力】

セブ市の電力は Visayan Electric Company, Inc. が供給事業者であるが、同社によると電力供給については特段問題ないとのことであり、今後も安定供給のためのパイプラインや電力設備を増設する計画を有している。停電について、一部で計画停電はあるものの、その他の供給不足等により生ずる停電はほとんどない。

【通信】

ルソン地域と同様、セブ市内での通信状態は良好であるが、その他の地域での通信状態は、通信事業者によってばらつきがある。

【不動産】

マニラに比べるとセブ市内でも駐在員が住むようなコンドミニアムの賃料は安く、その他の費用も比較的安いため、生活費が抑えられる傾向にある。

【水】

セブでは、一部地域を除き各家庭で水道を利用することはできる。しかしながら、飲料水としては適切ではなく、フィリピン人でも水道からの水を飲むことは避けている。生活用水として用いることには問題ない。

④労働事情**【人材】**

University of San Carlos は 1935 年に設立された私立大学だが、ビサヤ地区全体から優秀な人材が集まることで有名であり、全ての学科に強い。また、University of San Jose-Recoletos もセブでは San Carlos の次に非常に有名な大学であり、会計学に強いことで有名である。また、エンジニア出身の大学としては、San Carlos 及び Cebu Institute of Technology を挙げることができる。

【賃金】

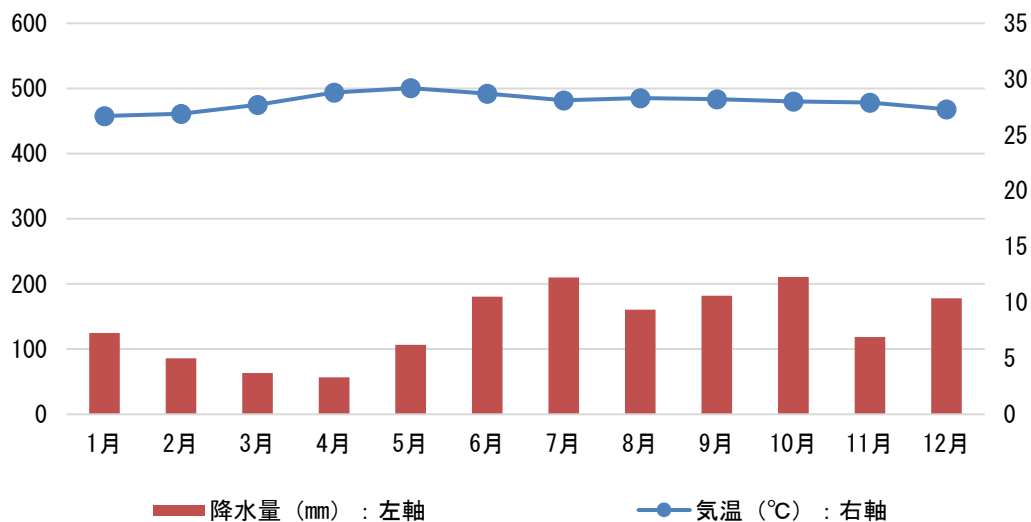
2023 年 7 月時点での中部ビサヤの最低賃金は、地域ごとに異なるが非農業部門で 382 ペソ/日から 435 ペソ/日となっており、マニラ首都圏と比べると安くなっている。

⑤生活環境

【気候】

1年を通して温暖な気候に恵まれており、高温多湿の亜熱帯気候である。

図表 26-2 ビサヤ地方の雨温図



(出所) 気象庁のデータより作成

【教育】

セブ市には、日本人のための教育機関としてセブ日本人補習授業校がある。日本語を身につけ、日本の教科書を使用して学習し、日本の文化に触れることができる唯一の場となっている。入学資格としては、志願者が日本国籍を有するか、両親のいずれかが日本国籍を有していること、並びに4月2日を基準として満6歳以上16歳未満であることが条件となっている。ほかにも現地校として Cebu International School というアメリカンスクールがある。セブで唯一の国際バカロレア認定校であり、学費は高いものの施設や教材が充実しており、教育の質も高いとされている。

【医療】

現在日本人が常駐している病院はセブ市にあり、日本人スタッフが日本語での診察予約や診察時サポートをしてくれる。一般的に診察料は高く、私立病院で入院治療が必要な場合には高額の治療費になる。そのため、駐在する場合には海外旅行保険への加入は必須と言える。

【治安】

ビサヤ地域は、エリアにより治安は異なる。その中でもセブ市は繁華街でもあることから、その他の地域よりも十分に注意する必要がある。重大な犯罪はほとんど起こらないが、スリ、置き引き、睡眠薬強盗などの被害は頻繁に起こっている。そのため、一人で出歩く場合や人の多い場所に行く場合には、十分に注意する必要がある。

【住居】

日本人の多くが、セブ市にあるコンドミニアムを借りて居住している。コンドミニアムのほとんどは、家具付きであり、また、居住者共有のプール、ジムなどが付いていることが多い。中心街のため、周辺にモール、日本食レストランが多くアクセスが便利である。

【日本食】

セブ市の日本人の多いエリアには居酒屋、ラーメン屋、すし屋、焼肉等の日本食レストランに加えて、日本食品専門店も複数あり、調味料、インスタント食品、調理器具や日本米の入手も可能である。

【金融】

邦銀の進出地域は、マニラに集中している。ビサヤ地区には邦銀の支店等はない。

2. 主要工業団地

中部ビサヤの主要工業団地にはMactan Export Processing Zone がある。セブ・マクタン国際空港の近くに位置し、ビサヤ地域内で日系企業、特に製造業が最も多く進出している工業団地となる。ほかに日系企業の進出が多い工業団地としては Mactan Economic zone II と Cebu I.T.Park などがある。

図表 26-3 ビサヤ地方の主要工業団地

No.	工業団地名	所在地	総開発面積
1	Mactan Export Processing Zone	Lapu-Lapu City, Mactan, Cebu	119.4 ha
2	Mactan Economic zone II	Basak, Lapu-lapu City, Mactan, Cebu	63.3 ha
3	Cebu I.T.Park	Lahug and Apas, Cebu	23.7 ha
4	West Cebu Industrial Park	Arpili & Buanoy, Balamban, Cebu	169.9 ha